特別
へ13
3446
2

特
へ 13
3446
巻 2

早稲田大學圖書館
昭25.9.28
購入

中將姫擬糸遊

目録

第一 大事大概の厨子の開帳を編み千手観音
鎧のやりまて光を集て栄昌が狗の火
なを〻交ぐ紀人参とうたとして茅蜩
僧じいろまぐさ面ぐさ面人よ元初の呪文

第二　厚恩とそう深編三ちの為て様紙を深く
見へむ者ふ人間和も迷惑なおそろ盤
如常相ひも今ち（でい家の宿と白嵐の西洛
面ハ立ハ紅報の果者山で俳異者の詩面所伝

第三　虎の威とかる兎ハ豚の狐ふ山ハ穴の悪堂
如都ハ古ハ者ハ虎ハ尾の出そふ赤の服を
鼻の上の蚤ハ自ハ（ぬ焼麦ハ白い字撃
疫病の神で毒の歌取ハ洛ふ衛の落葉

一　大事大姫の尉ハ女の内裏ハ深あ子ハ白粉ハ
かそるぐと産家ハ新ハも時代ハよりてふり白粉のたぐひも
問ハくよかそ白ハ上中下にハ白のふるのふ白ふ白ふ
けのるのしハ新ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ
寿ハ白ハ厨ハのうちハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ
芸ハ今ハのくぐハ元生ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ
ふハ白ハ白ハ白ハ歌ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ
よハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ
移ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ
ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ
那ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ白ハ

ぶまと名乗の氏名はやと。嘉のうぬ男ともいふけるくうもあ
るう。それ名のひしとえぐこじて流れの月のうへ。嘉で女の和神之
ゆるわ。私あの貝とあそんでうれ目といくぬのひ二世無りし
るしあつて中。流よ乗よのれて。名よはふぐるいろ手とふ
うぐしるぐるめぐでろ人並たそうやるかき物のせんうるく。
ぐふうるるるいんぐるぐひけるめもうくみにまぬのふ。ぎるる
武手はとて。嫌こしてといだてして女帝のやるまりて。敵のふむ
つう。侍まひ去ゆるにのでりはめて。のうまるるいやしさ。命もやる
うとのまま実ぐるるるもはるるぐんぐ十色て迷ばるぐまるこい野
学るふわとんてるる。まさいといるるるのるけいるて。はるるくま
里まであるてうるれ。めの千死一まるづふまんまるようせるの。
るわゆるまはまめて。ぬるのたのるるる。武手はも見はるるはる

あるるるふしばるいかるんてるるるるしもせまぬ。ぬるるるくあんぎゃんる。
たるるるのまし和ばるて元祥てあるるるるるるの。毒ぬいるんぐて吾
で帰りるるし世。富要和の大臣もるるぬるるるるるぬまて死るぐ
の母ぐい武手はるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる。
ひはる五るるる西はせるるるて。元異るるるるるるるるるるるるるる。
いる物るるる無色るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる。
雑毒和抗るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる。
わるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる。
いるるる元異るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる。
ぬるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる。
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる。
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる。
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる。

きまなまでもぞけ出しうろうろ仕ぶりいたして中くいのうせまぜ
雅楽のおまもりる又ぶ傷ぶれうろ寺めるかれるうろ家ぶり及
ちうろゆ何とで出はかりて女ぶ仕ぶせ及るくあ生
たくいへで。傷ぶおうるはさ弱ぶ。の新人八歳人もゆうこと
いそ。くかれいてせばんんよりまぶ。つにても同ろいさる
面とゆまバ見ぶたてま迷ぶ第ゆ及ぶ。ちぶ。ぶ。ぶ。
ろ。ぶ。ぶ。ぶ

たゝせ給ふ。西の山ふかくしのびて、ちんぜいの手ばかりまゐらせ給ふ。乳母ゐとめつゝ、
ゆきてごらんじつるに、あるべきかぎりの人、あまたまゐりて、修法をぞとりをこなひ給ふ。
ひとへに、姫君をいのりたてまつりて、ものの怪をしづめ給ふ。
ざしきのうへのごとく、光をまし給へり。修法のかずのたりぬべきにこそ、
あらんとて、たゝせ給ふ。たゝせ給ふ。
ものの怪、ものの怪、
たゝせ給ふ。
たゝせ給ふ。
たゝせ給ふ。

[illegible]

屋根ぞうこてこて

㊂ 屋根こてこて深編笠のあるを着と揃ぐ紙屋浪人

貴子い車と揚毎の里にくーて。名のようくめと遊る色

濁しーたも遊廓のあいこまいて。くくもぐる楊枝はてそわる。

さむしくい煙も吸ーくすーくはうるぞう。秋のあるものたあるよ。

のんぎりよいくつはてたあと。はてをべ北車ふうるる

海の美人男子をうるきやうにと。典業改日くのんまひ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ニ付メて十七貫百匁[illegible]人のお[illegible]で合小
ふとゝ[illegible]武百五拾六匁弐歩[illegible]
二貫百匁拾八文のお[illegible]て[illegible]百弐拾八貫百六十七文さても
[illegible]
[illegible]
[illegible]

のこりあるをこうもふこまてぐさるゝやうにぷくのこりたるを蛇
まつてくいぷ時いたゞ抱ます抱ものりうそう
蛇のうろ抱くぷ蛇のうろ抱くぷ迷抱ゝ小ぷ宮ア小ぷん
とぷうんとせうこえ蛇ア抱抱抱

一竹ノ長サ八尺ト半ニシテ、傳法ノ時ニ、法眼ノ目ニ見ヘタル
ヤウニ、下座ニ、竹ノ長サ、八尺ト半ニシテ、後世ノ人ニ、全
ク、ヒロヒ、ヒロヒ、ヒロヒ

のみこまれ
そうじゃ

紀氏天祖と崇て、てらあげ奉て、ゆうとまて給ぶいるゝ。
佛ゝ多給ふの姫として、ゆゝしきあるさまに、百度百回もゆかせど。
万機ハまことゝ公の御遊ハ、ものゝ、あはれ一ぶいの御遊ハ文だてゝてゝて
ひつゝ、ねたゝ字のかゝ屋敷ハ、ものいふゝ、ものの四
極てゐまゝ、ゝ、ゝ、

男の人で狩をまたてゝ居たるに、
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]人数もるべし。既に[illegible]曽の家と[illegible]
初年のごとく[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二之く巻終